

平成26年度 茨城県中学校総合体育大会軟式野球大会

日立市立駒王中学校 対 常総市立石下中学校

熱戦を制し、駒王中初優勝!!

牛久市総合運動公園野球場決勝戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
日立市立駒王中学校	1	0	0	0	2	0	0						3
常総市立石下中学校	0	0	0	0	0	0	0						0

【審判】 球審 柴崎 一塁 相沢 二塁 田口 三塁 鈴木
 【投手・捕手】 日立市立駒王中学校 投手 一捕手 二瓶・滝 六反
 常総市立石下中学校 投手 一捕手 中島 小林
 【長打】 二塁打 武笠(石下)
 三塁打
 本塁打

<試合経過>

1回の表駒王中の攻撃は、1番根本がエラーで出塁し、すかさず二盗を決め、続く2番二瓶が内野安打でチャンスを広げ、無死一・三塁。このチャンスに3番滝が二球目をスクイズするが失敗。挟殺プレー中にそれぞれランナーが進塁し、一死二・三塁となり、4番の六反が四球を選び、満塁のビックチャンス。ここで5番酒井の時にエンドランを仕掛けるが守備妨害でアウトとなり二死満塁。チャンスがついてたかに見えたが、6番瀧口が押し出しの四球を選び、駒王中が先制する。3回の裏1点をリードする駒王中は、エースの滝をマウンドに送る早めの継投。エースの滝はベンチの期待に応え、ランナーは出すものの粘り強いピッチングで、石下中を無得点に抑えていく。

再び試合が動いたのは5回の表駒王中の攻撃。一死後、1番根本がライト前ヒット、2番二瓶が三遊間をきれいに抜くヒットで一死一・二塁。3番滝が送りバントで走者を進め、二死二・三塁のチャンスを作る。このチャンスに4番六反がセンター前にボトリと落ちるヒットで二者が生還、3対0として石下中を突き放した。7回の裏、得点への執念を見せる石下中。ピンチヒッター武笠が左中間を破る二塁打を放ち、無死二塁。その後一死三塁のチャンスを作るが、後続が倒れ、ゲームセット。

駒王中、二瓶、滝にわずか二安打に抑えられた石下中。安定感のある投手陣とチャンスを確実にものにする攻撃陣の歯車がかみ合い、駒王中が初の栄冠に輝いた。

日立市立駒王中学校

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	6	根本 憲武	4	4	2	0	0	0	0	2
2	1・9	二瓶 佳瑛	4	4	2	0	0	0	0	0
3	4・1	滝 健志	4	4	0	0	0	0	0	0
4	2	六反 大晴	3	2	1	2	0	1	0	0
5	3	酒井 玲	3	3	0	0	0	0	0	0
6	8	瀧口 穂高	3	0	0	0	0	3	0	0
7	7	菅原 大夢	2	2	0	0	1	0	0	0
	4	沼田 敦矢	1	1	0	0	0	0	0	0
8	5	牛渡 隼人	3	3	0	0	0	0	0	0
9	9・7	木村 悠人	3	3	1	0	0	0	0	0
計			30	26	6	2	1	4	0	2

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
二瓶 佳瑛	2	6	6	24	0	0	0	0
滝 健志	5	15	20	60	2	1	2	0

常総市立石下中学校

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	4	山口 修那	3	2	0	0	0	1	0	0
2	9	野村 廉太	3	2	0	0	0	1	0	0
3	6	吉原 俊人	3	2	1	0	0	0	1	0
4	1	中島 慶	3	3	0	0	0	0	0	1
5	7	長瀬 平	2	1	0	0	0	0	1	0
	H	武笠 友哉	1	1	1	0	0	0	0	0
	R	中島 康平	0	0	0	0	0	0	0	0
6	3	柴 秀平	3	3	0	0	1	0	0	0
7	5	吉原 溪	3	3	0	0	0	0	0	0
8	8	小野沢 和久	2	2	0	0	0	0	0	0
	H	堀田 雄流	1	1	0	0	0	0	0	0
9	2	小林 史和	2	2	0	0	0	0	0	0
計			26	22	2	0	1	2	2	1

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
中島 慶	7	21	30	103	6	1	4	3



チームコメント

駒王中 会川監督

県大会本当に楽しかった。「みんなで」を合言葉にやってきて、21人全員の絆が最大の勝因だと思う。どこまでもこのチームで野球を続けたい。関東大会でも勝ち、みんなで徳島に行きます。

駒王中 酒井主将

正直県大会優勝は予想していなかった。でも、今までそれを目標として練習してきたので、うれしい。関東大会では一戦一戦戦って、全国大会出場を目指して頑張りたい。

石下中 沼田監督

中島が二試合投げたので、打線の援護が欲しかった。正直、悔しいです。関東大会は、思い切って戦いたい。